

上手に使おう 横浜の水
～健康と豊かな暮らしは 蛇口から～

横浜ウォーター株式会社が パキスタンとマラウイの水道事業改善をさらに推進！

横浜ウォーター株式会社は、これまでプロジェクトを進めてきたパキスタンとマラウイにおいて、独立行政法人 国際協力機構（JICA）が実施する、水道事業に関する案件を新たに受託し、活動を開始しました。横浜市も現地への職員派遣や研修などを通じてこれらの活動を支援し、海外の水事情の改善に貢献してまいります。

パキスタン国パンジャブ州におけるプロジェクト

1 件名

JICA「パキスタン国パンジャブ州上下水道管理能力強化プロジェクトフェーズ2」

2 活動期間

令和3年2月15日（月）から令和4年3月23日（水）まで

3 参加企業

（*）：横浜水ビジネス協議会会員企業

日本テクノ株式会社（代表者）、株式会社NJS（*）

横浜ウォーター株式会社（*）

4 主な業務内容

- (1) 現場経験を有する上下水道公社（Water and Sanitation Agency、以下「WASA」という。）職員のアカデミー講師としての活用や講師への研修の導入等を通じたアカデミー研修の質の向上を支援
- (2) 研修内容を浸透させるための各WASAの研修実施体制の構築を支援
- (3) トレーニングセンターの研修の質の向上を支援
- (4) 本邦研修



横浜ウォーター株社員が現地職員と意見交換している様子



横浜市職員が研修している様子

【背景と概要】

パキスタン国パンジャブ州の主要5都市（ラホール、ファイサラバード、グジュランワラ、ムルタン、ラワルピンディ）では、各都市のWASAの水道施設の運転維持管理や財務能力が不十分で、多くの課題を抱えています。

この状況に対応するため、上記5都市のWASA（以下「5WASA」という。）は課題に対応する人材の育成を目指すアカデミーを立ち上げましたが、運営管理体制が十分に整備されず、JICAが「パンジャブ州上下水道管理能力強化プロジェクト（以下「フェーズ1」という。）」（平成27年7月～平成30年7月）を実施し、アカデミーの研修システムの構築、講師の研修実施能力の強化等を行ってきました。しかし、現場作業で必要なスキルの研修体制やアカデミーでの研修成果を各WASAの職員に浸透させる内部研修体制の確立等が必要な状況であるため、パキスタン政府からフェーズ2の支援要請がありました。

本活動では、5WASA職員の持続的な能力向上を図る研修システムを構築することを目指します。

横浜ウォーター株式会社は、フェーズ1に引き続き参画してまいります。

マラウイ国ブランタイヤ市におけるプロジェクト

1 件名

JICA「マラウイ国都市給水分野に係る情報収集・確認調査」

2 活動期間

令和3年2月15日（月）から令和4年1月31日（月）まで

3 参加企業

(*)：横浜水ビジネス協議会会員企業

八千代エンジニアリング株式会社 (*) (代表者)、

横浜ウォーター株式会社 (*)

4 主な業務内容

- (1) 情報収集・整理（インフラ整備状況、組織・人員構成、財務・経営状況、給水サービスの現状等）
- (2) ブランタイヤ水公社（Blantyre Water Board、以下「BWB」という）の協力ニーズ、課題の整理・分析
- (3) ブランタイヤ市への協力方針案の検討
- (4) マラウイ国内及びサブサハラアフリカ域内における連携方針



小学校での出前教室@ブランタイヤ



メーター検査の指導@リロングウェ

【背景と概要】

アフリカ・マラウイ国南部に位置するブランタイヤ市は、人口120万人（平成30年）で同国経済の中心となっています。ブランタイヤ市の給水事業はBWBが行っていますが、給水量は水需要量に満たず、また、人口増加率が2%（平成30年）と高いことも相まって、今後も水需給が逼迫していくことが想定されています。さらに、総支出が事業収入を上回り、持続的な経営に向けた財務状況の改善が急務となっています。

水道施設に関しては、給水量の9割を占めるウォーカーズフェリー浄水場から、標高が約800m高いブランタイヤ市に揚水しており、これにかかる電力費用がBWBの運転費の6割を占めています。BWBの持続的な事業経営に向けた支援を検討するには、詳細な財務分析や需要予測の妥当性、水収支予測、水源水質や浄水場機能等の給水サービス全体に関する基礎情報の整理と、これを踏まえた課題分析が必要となっています。

こうした状況から、横浜市水道局は平成26年からブランタイヤ市に職員を延べ20名派遣して自治体間の交流を深めるとともに、水道局職員による技術支援を継続してきました。

この他、マラウイ国においては、首都リロングウェ市に対しても、JICA「リロングウェ市無収水対策能力強化プロジェクト」（平成31年～令和5年）が実施されており、横浜市水道局及び横浜ウォーター株式会社からも専門家を現地に派遣しています。

本調査では、上記のブランタイヤ市に派遣した横浜市水道局職員、リロングウェ市に派遣した横浜市水道局及び横浜ウォーター株式会社の専門家のこれまでの知見を活用し、ブランタイヤ市における給水サービス全体の問題分析を実施し、BWBの課題と優先順位の整理を行い、BWBに対する協力方針を検討します。あわせて、マラウイ国内および国を越えた知見・経験の共有を進めていくために、サブサハラアフリカの水道事業体の域内連携の可能性についても検討を行います。

～横浜ウォーター株式会社は、横浜市の有する上下水道事業ノウハウを生かし、国内外の課題解決に貢献します～

お問合せ先

(国際事業に関すること) 水道局事業推進部国際事業課長 山下 朋美 TEL 045-671-3077

(プロジェクトに関すること) 横浜ウォーター株式会社 広報室室長 酒井 洋 TEL 045-651-6100